



# 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 松田産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7456 URL <https://www.matsuda-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CSR・IR部長 (氏名) 田中 善則

TEL 03-5381-0728

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	88,564	0.4	2,418	43.3	2,915	34.9	2,021	34.6
2023年3月期第1四半期	88,192	25.8	4,263	1.8	4,479	3.9	3,089	3.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,802百万円 (41.0%) 2023年3月期第1四半期 4,750百万円 (31.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	77.50	
2023年3月期第1四半期	118.43	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	139,033	86,798	62.3
2023年3月期	129,208	84,648	65.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 86,615百万円 2023年3月期 84,481百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		25.00		25.00	50.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	158,000	10.2	4,000	49.7	4,100	49.6	2,800	50.3	107.33
通期	330,000	6.0	9,000	34.9	9,300	32.8	6,500	33.0	249.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2023年8月10日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、自己株式の取得の影響を考慮しておりません。なお、当該自己株式の取得につきましては、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(重要な後発事象)」をご覧ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	26,908,581 株	2023年3月期	26,908,581 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	822,960 株	2023年3月期	822,870 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	26,085,669 株	2023年3月期1Q	26,085,871 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9
(重要な後発事象)	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、世界的な金融引き締めが続く中、物価上昇などによる下振れリスクはあるものの、景気は緩やかな回復傾向となりました。我が国経済においては、雇用や所得環境が改善し個人消費にも持ち直しの動きが見られたものの、物価上昇や欧米・中国をはじめとした海外景気の下振れリスクなどから、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループの貴金属関連事業においては、資源リサイクルの総合力及び高機能電子材料の開発などによる差別化のもとで、営業展開と国内外における生産拠点の整備・拡充により、貴金属原料の確保、化成品などの製商品販売及び産業廃棄物処理受託の拡大に取り組みました。また、食品関連事業においては、仕入価格の上昇などにも柔軟に対処し、顧客ニーズに応えた商品の開拓と安全安心な商品の安定提供により、販売量の拡大に取り組みました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高88,564百万円（前年同四半期比0.4%増）、営業利益2,418百万円（前年同四半期比43.3%減）、経常利益2,915百万円（前年同四半期比34.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,021百万円（前年同四半期比34.6%減）となりました。

各セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### 貴金属関連事業

当事業の主力顧客であるエレクトロニクス業界の電子デバイス分野は、自動車用途の需要は底堅く推移したものの、前年度後半から続くスマートフォンやパソコンなどの需要低迷による在庫調整及び生産活動の低下により、総じて厳しい市場環境となりました。このような状況の中で、当事業においては、電子デバイス分野からの貴金属リサイクルの取扱量及び製商品の販売量は減少し、白金族相場下落の影響もあり、売上高及び営業利益は前年同四半期に比べ減少しました。

これらの結果、当事業の売上高は59,987百万円（前年同四半期比6.2%減）、営業利益は1,803百万円（前年同四半期比48.4%減）となりました。

#### 食品関連事業

当事業の主力顧客である食品製造業界は、個人消費の持ち直しやインバウンド需要も重なり、業務用食品の需要は増加しましたが、仕入価格や物流コストは高止まりの状況が続いております。このような状況の中で、当事業においては、水産品の販売量は減少しましたが、畜産品、農産品の販売量は増加し、販売価格も上昇したことから、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。また、営業利益につきましては、運送費及び保管料の増加や仕入価格上昇の影響により、前年同四半期に比べ減少しました。

これらの結果、当事業の売上高は28,596百万円（前年同四半期比17.7%増）、営業利益は614百万円（前年同四半期比20.3%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ9,824百万円増加し、139,033百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金、棚卸資産並びに有形固定資産の増加によるものです。

##### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ7,674百万円増加し、52,235百万円となりました。これは主として買掛金及び短期借入金増加と、未払法人税等の減少との差引によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2,150百万円増加し、86,798百万円となりました。これは主として期末配当金の支払い652百万円を上回る利益剰余金の増加によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,825百万円増加し、13,586百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動により減少した資金は952百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益並びに仕入債務の増加による資金の増加と、売上債権、棚卸資産の増加及び法人税等の支払いによる資金の減少との差引によるものです。なお、前年同四半期の5,566百万円の資金の減少に比べ4,614百万円増加しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は2,344百万円となりました。これは主として工場設備の新設などの有形固定資産取得によるものです。なお、前年同四半期の9,505百万円の支出に比べて7,161百万円の支出減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動により増加した資金は4,928百万円となりました。これは主として短期借入金の増加によるものです。なお、前年同四半期の14,839百万円の資金の増加に比べ9,911百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日付の2023年3月期決算短信で発表しております第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,761	13,586
受取手形及び売掛金	25,615	28,843
商品及び製品	28,925	30,793
仕掛品	606	681
原材料及び貯蔵品	16,058	16,461
未収入金	2,055	2,022
その他	4,336	4,861
貸倒引当金	△32	△30
流動資産合計	89,327	97,219
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,954	14,037
減価償却累計額	△6,609	△6,756
建物及び構築物（純額）	7,345	7,280
機械装置及び運搬具	13,510	13,714
減価償却累計額	△10,394	△10,559
機械装置及び運搬具（純額）	3,116	3,154
土地	16,625	16,637
リース資産	1,815	1,896
減価償却累計額	△1,054	△1,050
リース資産（純額）	761	846
建設仮勘定	1,129	2,859
その他	1,619	1,626
減価償却累計額	△1,392	△1,411
その他（純額）	227	215
有形固定資産合計	29,205	30,993
無形固定資産		
その他	1,341	1,464
無形固定資産合計	1,341	1,464
投資その他の資産		
投資有価証券	5,825	6,221
繰延税金資産	695	312
その他	2,858	2,871
減価償却累計額	△6	△11
その他（純額）	2,851	2,860
貸倒引当金	△38	△38
投資その他の資産合計	9,334	9,355
固定資産合計	39,880	41,813
資産合計	129,208	139,033

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,874	14,543
短期借入金	2,346	8,942
1年内返済予定の長期借入金	3,102	3,002
リース債務	246	260
未払法人税等	2,584	831
賞与引当金	1,030	699
未払金	818	886
その他	6,890	7,147
流動負債合計	27,893	36,313
固定負債		
長期借入金	13,023	12,272
リース債務	520	598
繰延税金負債	12	11
役員退職慰労引当金	788	742
執行役員退職慰労引当金	22	20
退職給付に係る負債	2,183	2,159
その他	116	117
固定負債合計	16,667	15,921
負債合計	44,560	52,235
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	75,939	77,309
自己株式	△995	△995
株主資本合計	82,512	83,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	577	640
繰延ヘッジ損益	△91	332
為替換算調整勘定	2,235	2,429
退職給付に係る調整累計額	△751	△668
その他の包括利益累計額合計	1,969	2,733
非支配株主持分	166	182
純資産合計	84,648	86,798
負債純資産合計	129,208	139,033

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	88,192	88,564
売上原価	79,067	80,845
売上総利益	9,125	7,719
販売費及び一般管理費	4,861	5,300
営業利益	4,263	2,418
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	13	11
持分法による投資利益	213	231
仕入割引	3	3
受取保険金	1	6
為替差益	27	263
その他	18	34
営業外収益合計	281	553
営業外費用		
支払利息	38	36
その他	26	19
営業外費用合計	65	56
経常利益	4,479	2,915
税金等調整前四半期純利益	4,479	2,915
法人税、住民税及び事業税	1,457	748
法人税等調整額	△74	135
法人税等合計	1,382	883
四半期純利益	3,097	2,031
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,089	2,021



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	3,097	2,031
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	62
繰延ヘッジ損益	952	427
為替換算調整勘定	497	126
退職給付に係る調整額	80	82
持分法適用会社に対する持分相当額	119	72
その他の包括利益合計	1,653	771
四半期包括利益	4,750	2,802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,733	2,786
非支配株主に係る四半期包括利益	16	15

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,479	2,915
減価償却費	548	550
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△22	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△356	△331
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	83	94
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11	11
執行役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1	1
受取利息及び受取配当金	△16	△14
支払利息	38	36
持分法による投資損益 (△は益)	△213	△231
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,302	△3,240
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,081	△2,300
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,523	3,631
その他	△1,465	336
小計	△2,772	1,459
利息及び配当金の受取額	16	14
利息の支払額	△36	△25
法人税等の支払額	△2,774	△2,399
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,566	△952
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△9,418	△1,997
無形固定資産の取得による支出	△82	△327
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他	△3	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,505	△2,344
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,798	6,504
長期借入れによる収入	13,500	—
長期借入金の返済による支出	△750	△850
配当金の支払額	△626	△652
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△81	△72
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,839	4,928
現金及び現金同等物に係る換算差額	308	193
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	76	1,825
現金及び現金同等物の期首残高	11,379	11,761
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,455	13,586

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	63,924	24,268	88,192	—	88,192
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	19	19	△19	—
計	63,924	24,288	88,212	△19	88,192
セグメント利益	3,492	771	4,263	—	4,263

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	59,987	28,576	88,564	—	88,564
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	19	19	△19	—
計	59,987	28,596	88,584	△19	88,564
セグメント利益	1,803	614	2,418	—	2,418

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

・自己株式取得に係る事項の決定

当社は、2023年8月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を以下の通り決議いたしました。

1 自己株式の取得を行う理由

機動的な資本政策を実行し、1株当たりの株主価値の向上を図るため。

2 取得に係る事項の内容

- ① 取得対象株式の種類 : 当社普通株式
- ② 取得しうる株式の総数 : 200,000株 (上限)  
(発行済株式総数 (自己株式を除く) に対する割合 0.77%)
- ③ 株式の取得価額の総額 : 400,000千円 (上限)
- ④ 取得期間 : 2023年9月1日から2023年10月31日まで